

令和6年12月度運営推進会議

1) サービス提供状況（R6、10月～11月）

2) 出席者

大田区役所 2名

地域包括支援センター 1名

【小規模多機能大森東】

	通い	宿泊	訪問
R6.10月	2回	0回	1933回
R6.11月	11回	0回	1980回

【小規模多機能ST蓮沼】

	通い	宿泊	訪問
R6.10月	0回	0回	1196回
R6.11月	0回	0回	1268回

3) 課題

- ・本体の通い回数は横ばい、ST蓮沼の通い充実に向けて採用の継続
- ・通いの充実にむけて。
対策：ドライバー採用を継続、介護タクシー等の活用も検討
- ・新規採用職員の技術力・知識取得のために、11/21虐待防止研修を実施済み
今後も定期的に研修実施予定

4) 総評

- ・12/23は梅原様と森様が来訪
- ・大田区役所、地域包括支援センターの方へのお願いとして「他は」「普通は」「いつもは」という表現は控えていただくようお願い申し上げた。また、運営懇談会の在り方について「一緒により良いものを作り上げていく」という考えを改めて共有できた。
- ・民生員が来ないのは理由があるか
⇒以前他の民生委員の方に前任者が連絡をしたが、その際に電話で「今後案内は結構です」と断られてしまった。その為、それ以降は連絡を行っていない。大田区に相談の上、大田区担当者より新しい民生委員の情報を連絡待ち
- ・ホームページに掲載をするよう大田区から指示があった
- ・通いに関しては今後の通い予定表を提示し、確認していただいた。
- ・大田区より今後は外部の登録者様を増やした方が良いと指示があった。

⇒大田区の指示通り外部の利用者を増やすため、介護が必要な希望者であっても大田区からの指示により外部利用者を増やす為、小規模多機能型居宅介護の利用はお断りをする旨を伝えたところ、そこまではいいとの回答をいただいた。

・登録定員上限緩和について大田区に相談を行ったが、近隣に小規模多機能型居宅介護が無い場合を想定の為、大田区では上限数の緩和は行っていないとの回答があった。

・大田区より離職率について質問があった

⇒他社同様10～15%と回答した。

・大田区より人材確保ではなく人材定着の為に介護職員の負担軽減を図る為補助業務職の職員も必要との考えたかた近隣の方を対象に「介助職員のヘルプ」として取り組みを行っているとの話があった

5) 次回以降の当事業所から大田区、地域包括支援センターへの要望

・小多機は「通い」「宿泊」「訪問」の三軸の為、大田区の方、地域包括支援センターの方が「デイサービス」いう表現をしていたが、「デイサービス」と「通い」は異なるものではないか。混乱が生じる可能性が有る為、正確な表現での発言をしていただきますよう、お願い申し上げます。

・平成30年の議事録等の過去の内容をご確認いただいたようではございますが、過去の内容に関して質問を受けましても現管理者が回答をできないこともある為、控えていただきます様、お願い申し上げます。